京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

京城居留民團公文

京城居留民團告示第十三號
明治四十二年度當民團歲出豫算左ノ通リ更正ノ件居留民會ノ決議ヲ經理事官ノ認可ヲ經タリ
明治四十二年九月廿九日 京城居留民團民長 熊谷賴太郎

歲出
經常部
第十二欵豫備費
既定豫算額金六千九百八十七圓
更正豫算額金四千百三十二圓
小計
既定豫算額金十六萬六千八百十二圓
更正豫算額金十六萬三千九百五十七圓

歲出
臨時部
第一欵土木費
既定豫算額金二千五百六十五圓
更正豫算額金 零
第七欵財產費
既定豫算額金一千五百圓
更正豫算額金 零
第八欵衛生費
既定豫算額金なし
更正豫算額金六千九百二十圓
小計
既定豫算額金五萬九千三百五十一圓
更正豫算額金六萬二千二百六圓
合計
既定豫算額金二十二萬六千百六十三圓
更正豫算額金二十二萬六千百六十三圓

●避病舍所管移轉

從來警視廳の管轄たりし避病舍即ち光熙門外避病舍北門內順化醫院龍山東幕避病舍孔德里避病舍は今般臨時防疫本部の所管に屬するに決定す

●煙草產地と產額(一)

韓國に於ける煙草耕作の狀況は各道到る處之を生產し毎戸自家消費用として耕作せざるものなし只全羅道、慶尙道等米穀產地其他沿海漁村に於て偶ま之を耕作せざる里洞あるを見るのみ而して自家用に供するものは其耕作地積頗る僅少なるも屋前屋後五坪乃至廿坪位に至るもの最も多く耕作巧妙なり自家用以外主產地に於ける耕作狀況は一耕地の地積多きは一耕地六百坪に至るものありて山麓、谿間に多きも平野の間にも主產地なきにあらず要するに韓國に於ける烟草產地は零碎の產地集りて一產地を成形するものにして今各道に亘りて主產地の重なる郡名を擧ぐれば左の如し

京畿道、水原、龍仁、果川、廣州、長湍、開城
忠淸北道、忠州、淸州、
同南道、天安、木川、溫陽、全義、定山、靑陽
慶尙北道、金山、星州、安東、尙州、義城、醴泉、靑松、新寧
慶尙南道、晋州、河東、咸陽、安義、山淸、居昌、陜川、三嘉、宜寧、咸安
全羅南道、靈巖、長興、順天
全羅北道、全州、茂朱、珍山、高山、錦山、任實、長水、淳昌、南原
黃海道、鳳山、遂安、谷山、新溪、金川、瑞興、黃州、延安、白川
平安南道、龍岡、海州、成川、寧遠、陽德
平安北道、義州、寧邊、碧潼、龜城、定州
咸鏡南道、水靑、端川、永興、咸興
咸鏡北道、鍾城、吉州、鏡城、城津、會寧
江原道、寧越、原州、平昌、金城、伊川

以上產地中著名なるものは京畿道に於ける龍仁葉、金剛草及長湍葉、慶尙南道の河東葉全北の上關葉及任實葉黃海道の谷山葉京南の成川葉及陽德葉江原道の寧越葉等にして色澤の良きは成川葉及廣州の金剛草にて稍香氣あるは寧越葉なり谷山葉は有名なれども色澤香氣に於て賞すべきものなしたゞ產額多きが故に名あるものゝ如し

中山大納言

第六十七席 桃川燕演玉

此時越中守カラ〱と打笑つて攝津守をジロリと御覽になつて越「いかに攝津、中山殿を宥しそれが爲關東の御威勢を失ふと云ふ、左程懦弱な德川の天下と思はつしやるか、恐多くも日光樣より二百餘年、天下泰平を謳つて今日に至る、縱令一人二人の中山殿を御差許しになればとて、天下の御威勢に關はるなどゝ云ふ事は毛頭ござらぬ、將軍の武威衰ふる時は、縱令如何なる者を罪に處せばとて天下を保つことは出來ぬ將軍の武德盛んにして天下を治むる、何百人の中山正親町を宥せばと云つて何程の事あらん、左樣な手弱い德川の天下ではござらぬから御安堵をなさい、是非中山殿は寬仁の御沙汰を願ひたい」と飽迄越中殿が押切つた。そこで咎を申付けるか罪に處すかと云ふと、是は何處迄も處分をせぬければならぬと云ふ衆議でございますから越中守殿が「恐れ乍ら將軍家は中山殿を罪に處すると雖も、重き科は御宥しに相成る思召と存じ奉る」茲で家齊公が「如何にも其通りである」越「然れば免職、閉門差控、逼塞と云ふ、是に止まりましたもの、中山殿は閉門、正親町殿は逼塞、歸京の上所司代を以て關白殿へ申上げ、御免の上免職仰付けられまして然るべく……」と父茲に議論が持上つたのは、關東に於て免職を申渡す事は出來ない、京都へ還して關白殿から申渡すなどゝ云ふ、どうも關東の威勢が薄い形だから、決議はないから關東で早々免職を申付けたが宜からうと云ふ、大勢でございますからいろ〱議論が乾ない、と溜間詰の井伊掃部頭ジリ〱と御進みに相成つて、溜座をジロリと御睨みに相成り 掃「此位の取扱ひ手續き、何も各位が左樣議論をなさる所はない、是等の事は將軍輔佐の越中の一存に任したが宜い、其爲の天下の輔佐役である、アイヤ越中、其方存寄りを申上げ評定が相濟んだに依つて、將軍家の御入を申上げるやう、各位方が長詮議は以の外でござる」と諸役人を鋭ど睨んだ、德川名代の井伊掃部頭、イヤ大膽な御威勢で、一同の者が一時に口を噤んでしまつた。そこで松平越中守が此段を將軍へ申上げる、將軍家齊公は大奧へ御立座になりました、そこで愈々落着と云ふ。其翌日戸田采女正役宅へ中山正親町兩卿を御呼出しとなり、老中若年寄三奉行、大目附徒士目附御小人目附、諸役人御列席でございまして、中山殿へ松平越中守から申渡したのは、中山大納言、尊號御內願一件、不行屆、並びに此度下向の上、御尋ねこれある處、不束の御答、並びに輕卒なる取計ひ、其外体段を失ひ候儀不埒に思召し候、是に依て閉門仰付けられ候と云ふ、正親町大納言、尊號御內願一件不行屆、並に此度下向の上御尋ね有之處、體段を失ひ候儀不束の取計ひ、御役柄別して不行屆の儀に思召され、是に依て逼塞仰付けられ候と云ふ申渡し、是で御覺悟で居らつしやるから、中山正親町の兩卿委細承知を仕つたと云ふ、そこで直ぐ御歸りに相成るボンーと閉門と云ふ、所が是は越中樣から豫て役人へ申付けまして、表向き閉門と云つても決して嚴しくはございませぬ、用事があれば夜分は立出でも苦しくない、極く大まかでございます、茲で六角越前守中山殿方へ來つて、御仕度宜しければ歸京を致されるやうにと云ふ、兩三日は此處で御休息、御發足の御仕度が整ひまして愈々江戸を御立ちとなつた、當日別段に御見送りをする人も何もない、只六角越前守が來て萬端の御世話を致し、中山正親町の御兩卿江戸表を御出立、京都へ御送り申しますのは御徒士目附荻原藤十郎、細見櫃十郎、御小人目附が四人御供をして江戸を出立を致しました、丁度十二日目に京都へ御着になる、京都に歸る閉門御免と云ふ直ぐ其日に中山正親町の御兩卿免職を仰せ渡されました、偖江戸表は松平越中守、御兩卿が出立をした時に直ぐ江戸を御立ちになつて、安房上總伊豆相模の海岸を御巡見になりました、と云ふのは仙臺の林子平と云ふ人が海國兵談と云ふ書物を著はし、松平越中守樣へ海岸の防禦忽諸に遊ばしてはならぬと云ふ事を屢々言上した事がございます、當時露國の奴が屢々蝦夷地を侵す、そろ〱世の中が騷がしくなつて來る時分でございますから、越中樣に於ては此房總伊豆相模の浦々を御巡見になり、江戸表へ御歸りになると御役御免の願書を御出しになりました。



京城新報

日韓の一家和合

頃者京城電報として祖國新聞紙に揭げらるゝ所に依れば、三派聯合舉國一致運動の結果日韓合邦の國論を鼓吹すべく準備中なりとあり、余輩は果して斯る事實のあるや否を知らずと雖も、兎に角桂内閣の機關紙たる國民新聞にも京城特電として揭載せられ居るを以て、強ち無根の風說にもあらざるべきか、果して之を事實とすれば韓國民の帝國に對する思潮は極て親善に向ひつゝあるを證するもの也、換言すれば帝國の韓國に對する厚意眞情の漸次韓國民に解せられつゝあるを證據立つるものならんか、然り日韓の關係は表面上の協約は如何にもせよ、素より一家として輯睦せざる可らず、啻に古來よりの關係の深きのみならず、韓國現在の狀態に於て日韓は是非共一家として和合せざる可らず、茲に大体より見るも韓國の開發は僅々一千万以內の國民を以て能く之をなし得べきか、帝國は之を指導すると共に我充隘せる人口を移して開發の任に當らしむるに非ざれば、到底韓國の發展を見る能はざる也、韓國側より之を見るも密接の關係ある日本人を移して其開發の幾分を之に委ぬるは策の最も得たるものならん、何れの點より見るも韓國將來の發展は必ずしも帝國の庇保に俟たざる可らず、而して帝國の國勢よりするも、其自衛上是非共滿韓に向て充隘過剩の人口を移さゞる可らず、故に日韓兩國の利害は全く一致せり伊藤公が兩國一家說を唱道するも是が爲也若し夫れ何れか一方の利益が一方の害となるが如き事の存するに於ては、所謂一家說の實は容易に擧げ難きも、日韓兩國の利害は前に述るが如く能く一致せるを以て、一家和合の實は容易に擧るべき筈也、若し此一家和合に反對せるものありとすればそは一の感情のみ、虛心平氣に之を考察するに於ては韓國民と雖も容易に首肯せらるべき事也、然るに我保護政治の異勢にして其間深き厚意の存する所を知得せられて、一家和合の氣運に向ひつゝあるは甚だ喜ぶべき現象なりと云はざる可らず。

帝國が韓國を保護し之を指導啓發するには獨り官憲の力のみを以て能くすべからざるは今更に繰返す迄もなく、眞に指導啓發の實を擧るには我多くの移民に俟たざる可らざるは夙に識者の唱道する所也、一家和合の實も我移民の增殖によりて擧るべし、韓國民も眞に前途の幸福を希はゞ此際徒に猜疑することなく、帝國の厚情に信賴して一家和合の實を擧るに勗む可き也、今や三派の合同に依りて一家和合の國論を鼓吹せられんとするに至る、是れ韓國民思想の進步として東洋將來の爲に慶すべきものと信ず、余輩は我官邊の在留者、と亦一致して一家和合の實を擧るに勗められんことを切に希望するもの也。

東京電報

▲露國政府の猜疑 露國政府より日清協約に際し日清間に密約ありとて駐日露國大使を經て我外務省に交涉したり(二日午後發)

▲賣方の營業停止 米穀取引所賣方仲買十名は營業を停止さる(三日)

▲プラタス島評價 プラタス島に於ける西澤の損害は二萬圓と評價さると

▲早大選手大敗す 早稻田大學とウイスコンシン大學の第一回野球仕合は七對四にて早稻田撰手の敗に歸せり(同上)

▲取引問題の危機 東京米穀取引所の紛議は倍々劇しく遂に血を見ざれば已まざるの形勢ありて仲買等は秘密協議に忙はし(四日)

▲日土條約の成立 日本土耳其間に交涉中なりし通商條約は日本は歐州列強に倣ひて治外法權を存せんと主張し土國は列強の該權利撤去準備として日本をして先づ其撤去を承諾せしめんとし其爲め遲延し居たるが今回遂に我國が其撤去を承諾したるを以て愈々近日墺國に於て調印せらるゝに決せり(同上)

▲西澤島解決近し 西澤島問題の解決は次節に近寄りしが要償金は二萬圓內外ならんと(同上)

▲渡米實業團不平 渡米實業團に對する米國側の待遇は澁澤團長商業會議所會頭を主として其他は兎角冷遇の傾きあり恰かも其從者の如く見倣され居る爲め團員中不平の聲あり(同上)

▲教科書專賣特許 文部省は小學教科書圖書の飜刻發行を日本書籍株式會社東京書籍株式會社大阪書籍株式會社書籍販賣株式會社に特許し之に關する規程を告示第三五四號を以て發布せり(同上)

▲增證據金又追徵 取引所は十月限百石に付又々五十圓の增證據金を追徵す

▲齋藤大佐の行程 目下上京中の齋藤間島派出所長は五、六日頃京城に入り更に釜山より清津を經て間島に至り派出所廢止に關する一切の事務を處理する筈也

伯林電報

▲露皇后の御不例 露國皇后陛下は此程來憂鬱病に罹らせらる(四日東京經由)

北京電報

▲駐清露公使交迭 哈爾賓行政權問題に原因して駐清露國公使交迭すべしとの說行はる(四日)

雜報

治道工事の影響

韓國政府が治道に投ずる[illegible]既報の如く隨分莫大のもの[illegible]は治道の[illegible]落ひつゝある事實にして其狀態を示さば

△治道と暴徒 將軍馬夫等勞働者失職の結果は幾分暴徒に投せし者有るも多數の勞働者を吸收し茲に職業を得て一般に平穩にして暴徒の發生もなく暴徒全南に固ねきの間に於ても榮山浦、羅州、公州間の道路にて匪徒のために被れる損害は皆無なるが道は交通の敏活勞働者の吸收勞銀の散布に對する故なりと

△治道と地價 地價は現時不景氣の打擊に依り治道の結果を直に地價に現すを得ざるも羅州邑に於ては開通の當時は開通前に比し割高の賣買を見しも現今漸次下落して平均二割以內の騰貴に止まれり南平邑は開通前より一割乃至二割を減じ(全く不景氣の爲なり)光州は處に依りて二三割の騰貴を見し處あるも平均二割內外の高價を示し沿路市街地以外一般の田舍は暴徒、金融の關係により平均二割を下落せりと

▲治道と物價 道路開通に伴ひ運輸機關の發展に依り運賃を低減し貨物の輸入高を增加し供給充分なるが爲め輸入品の物價は昨年當時に比し幾分下落を示せり反對に輸出品の主なる者即籾米の如きも運賃の低落に依り道路開通以前に比し一石に對し約四十錢の高騰を示すに至れり右は光州に在る物價の高低にて羅州榮山浦に於ては殆んど影響を見ずと

●驛屯土と借地料

韓政府の出資額として東拓會社との間に引繼中なる持株四分の三に對する驛屯土は目下實地調査中の由なるが其地區は主もに馬山水原附近にして近々全部完了するに到る可し而して會社一般株主の拂込は現に四分の一なるが韓政府に對しても等しく四分の一拂込まして其以上に屬する分は總て借地關係を以て引繼ぎ他日一般の拂込を爲す時期に於て同政府の拂込額に編入する手續なりと故に四分の二以上の分に就ては相當借地料を韓政府へ納付する筈なりと云ふ

●道路工事の速成計畫

本期間に於ける內部土木局主管事務にして實施中にかゝるもの治道及水道敷設工事は大体豫期の通り進行中なるが治道工事にては既定年度割の通施行するに於ては今後尚四年を要し事業上經濟上兩ながら不利鮮ならざるより年度線上の計畫を立て目下手續中に屬するを以て此計畫にして通過せば大体隆熙四年度に於て竣工を見るに至るべし今茲に各線路の工程を擧ぐれば左の如し

大邱延日間(前年より繼續)	二十八町
木浦光州間(同)	二里三十一町
群山全州間(竣工)	八町
南浦平壤間(同上)	二里廿二町
水原利川間(同上)	二里
公州小井里間(同上)	一里十五間
晉州馬山間(同上)	一里十九町
安州寧邊間(同上)	二里四十間
麻田洞義州間(同上)	四里三十間
計十四里十三町三十間	

仁川港十月中の貿易

仁川港[illegible]十月中[illegible]百五十九萬九千四百四十六圓[illegible]九千二十三圓牛皮の一萬八千五百三十三圓[illegible]四十万七千二十六圓同輸入の重なる[illegible]十圓石炭の三萬八千九百二十九圓煙草の三[illegible]萬五千三百二十一圓綿絲三万三千六百八十[illegible]二十圓差引輸入超過七十九萬七千九百九十四圓なりと云ふ

●來年豫算と農商工部

隆熙四年度韓政府各部の豫定經費要求書は客月三十日限り調製し度支部へ回付し度支部大臣は此要求書を基礎として總豫算を編制し內閣會議に提出する順序なるが各部とも未だ提出の運びに到らず隨て非常の遲延を來たし全部出揃ふは本月二十日頃なる可しと而して此中に就き農商工部豫算は目下同部にて着々調査中なるが聞く處によれば來年度に於ては何等新事業の企畫なきを以て前年度と大差なく唯だ度量衡擴張に伴ふ經費の增額位が主なるものなるべし然れば一般豫算の約百万圓と蠶業及び平壤の官營鑛山に要する特別會計豫算約七十萬圓にして乃ち總豫算に計上せらるゝは合計百七十萬圓位なる由

●警察分署の增設計畫

韓國全國に於ける警察官署の配置は頗る稀薄にして全十三道三百卅九郡を通じ警察署六十五同分署巡查三駐在所二百三十七個所にて巡査駐在所は殆んど一郡に一個所の比例に過ぎず一巡查の受持區域十里に及び甚しきは三十里に及べるものあり到底警察の實を擧るを得ざるを以て本年中に豫備費の支出を仰ぎ各道中最樞要個所へ警察分署十五個所を增設せんと目下調査計畫中なりと

●三黨員有志の懇親會

過日聯合を決議したる三党の有志者は去る二日午後七時より明月館に於て懇親會を開きたるが大韓協會よりは副會長洪世昌、總務尹孝定、評議員權東鎭、一進會よりは副會長洪肯燮、評議員金澤鉉、同崔永年、西北學會よりは鄭雲復、崔錫夏、及大垣、內田、菊池等の諸氏參會し洪外數氏の演說あり將來の方針等に就き協議をなして散會したりと

●平壤鑛業所工事經過

農商工部が平壤鑛業所に於ける鐵道布設及鐵索設置に就きて五萬圓を投じたる工事は其後着々進行して京義本線及び寺洞間の鐵道は既に竣工し夫より高仂山に到る鐵索工事は昨今休止中にて鐵索材料の到着と同時に着手すべき筈にて本年の中には全部竣成すべしと云ふ

●地方税と京城の邦人

漢城府に於ける地方費は屠獸稅、市場稅、土地家屋所有權取得稅、典當稅等にして元來京城は雜居地たるを以て外國人、日本人を合む)に對しては課稅せざるべしと

●大久保司令官の檢閲

大久保軍司令官は昨四日西韓駐屯軍檢閲の爲め京義線方面へ出發せられたり

●疫病流行地指定

蘭領印度政廳は韓國を以て虎列刺病流行地と宣言したり

●豫備金支出裁可

左の金額豫備金より支出の件裁可せられたり

特別功勞賞與金	三、五〇〇、〇〇〇
殉職警官遺族慰藉金	二、〇〇〇、〇〇〇

●完平君薨去さる

皇族完平君李昇應邸は去る二日午後十時自邸に於て薨去せり

●民團の給水計劃

京城民團にては既報豫防策として市內の不良井水三百有餘を臨時閉鎖したる爲め現に敷設しある各戶の水道を開放し一般の需用に充てんと欲し理事廳を經て大韓水道會社へ此旨交涉したるに會社にては不當の使用料を要求し來り其沒公德なる實に驚嘆すべし元來水道會社が道路使用料として當地民團へ納付し居る金額によれば引水者は僅かに三百有餘個所に過ぎず是れ畢竟使用料の暴價に失する者にして昨今の如く虎疫流行の際は特に會社にても大に市民の便利を計り與ふるを要す然るに私慾の爲めに斯かる態度に出づる以上當民團には不得已臨機の處置として南山の貯水池を開放して以て一般の需要に應ずるの外なしとし今五日より中原鐵臣氏をして給水を請負はしめ特別廉價を以て此際の不便を救濟すべしと云

●仁川と釜山の勢力界

仁川日報に「機敏なる釜山商人」と題し最近の釜山日報に左の如き記事を揭載し居たり 韓內地に於ける釜山と仁川との商業競爭分岐點は目下太田にして鳥致院以北は仁川の勢力範圍に歸し又公州、群山、木浦等は釜山三分、仁川七分の割合なるが他日三南線の敷設の際は或は鳥致院が其分岐點となるべければ若し其鳥致院を釜山商人の商略範圍に取り込む事を得るならば從つて公州、群山、木浦等も自然釜山の勢力範圍に歸すべしとて二三の炯眼なる釜山商人は既に鳥致院に其勢力を扶植しつゝあり

●民團と瓦斯會社

豫て交渉中なる當地民團と日韓瓦斯會社との道路使用に關する案件は使用料額に就ては全部民團の所定に承服したるも唯だ納付の名義に就て會社は寄付の名に於てせんと申込み來りたる爲め今に交涉成立せず其他一二條項に關し重ねて交涉中なる由

●清國密漁船の動作

門泊地方に於ける清國密漁船の密集に付き我が水雷艇は之れが退去を命じたりとのことは既報の如くなるが其の△漁獲方法は門泊附近一帶約三四哩の淺瀨に於て所々相隔て三四間の丸太合計六十本を淺瀨に樹て(其間二三町)一漁場とし前列後列共丸太の間隔は約三間其間に網を沈め漁獲は干潮時適當の時に於てし漁場の數二三十ありと而して△漁民は清國大連灣の隣地趙子溝の住民にして多くは問屋に傭役せらるゝ者にて其數は一漁場に四五名つゝ從事し一ヶ月清貨二三十圓を以て傭はれ漁船は問屋持と漁夫持とあり傭賃亦隨て異なる由にて前項は船問屋持の場合に於ける賃錢なりと次に△漁船は通常の支那サンパンにして大概長六間巾一間餘のものにて一隻には二名乃至三名の漁夫乘組をりて小鰕一二寸のものを主として漁獲となし漁獲高は一潮に於て

[illegible]は現在の儘にては到底來年度初期の入學兒童を收容する能はざるを憾み今回防疫費及[illegible]員に擧げたるが爾來委員の諸氏は防疫費に引續き高等女學校々舍の新築豫定地たる西

●太平町衛生狀態

太平町衛生組合にては過日民團より依賴の趣旨に基き直に評議會を招集せしに同町は日人疎らなる割合に組內延長に涉り之を一掃しては事を急速に諮るの不便なるより評議の結果組內を六區に分ち一區二名の委員は評議員之に當り萬一に備ふる處ありしが同區居住者中には幸に未だ一人の發患なきも去る一日二日に掛け第二區附近韓人三名の發生を見るに至り故急に該區委員佐藤改平、三浦幸一郎の兩氏は區內日人中より醵金して極力防遏に奔走すると共に附近韓人に對しては無料にて消毒藥を配附しつゝあり又防疫本部より豫防心得書も二日朝全部配付せりと

●德積島附近無事

仁川署管內德積島に多數の暴徒出沒する旨密報に接し仁川署より二宮警部は巡查五名を率ひ七十二號水雷艇に便乘して同島へ急行したる由は既報せし通りなるが同島附近の各島嶼を殘る限なく搜查したれども賊影を認めざるのみならず被害もなかりければ去る二日右討伐隊一行は手を空しくして歸署せりと云ふ

●古碑建設會趣旨

官幣大社香椎宮高麗古碑建設會にては今回神功皇后三韓征伐に因める爲め同碑建設に關し在韓有志者より廣く會員を募らん爲め發起人奈良四郎氏外一名來韓し昨今當地に於て募集に着手せしが元より歷史的記念事業にして私利私慾の爲めに營む者にあらざるや勿論なり

●築港委員會開會

仁川築港期成會委員會を去る二日午後三時より開會せし由は既報の通りなるが今後の運動方針に就て疑議の結果近日中再び委員上京の上當路者を訪問し陳述する事に決議したりと云ふ

●九月中船舶出入

仁川港に於ける九月中の船舶出入數を聞くに左の如し 汽船入港數四九、同出港五三、帆船入港數三、同出港六、沿岸航行汽船數二五、同帆船二二九、漁船入港八六〇、同人員三、三四三、同出港八六二、同人員三六一人

●兩記者の歡迎會

夏目漱石及鐵野棕十兩子の入京を機として京城の有志者今井忠雄、大岡力、熊谷直亮、宇都宮高三郎の諸氏發起人となり今五日午後六時より花月樓に歡迎會を開く筈なれば有志の士は同日午後三時迄に發起人へ申込まるべしと

●民團議員委員會

過日來屢次開會せし京城民團議員委員會は昨四日も亦午後一時より開會したるが議題は女學校の設立四十一年度決算報告に關する件なりしと

●夏目漱石子視察

目下入京中なる東京朝日新聞社の夏目漱石子は昨二日通信管理局の矢野及び建築所の坂出兩氏と共に開城に到りて蔘政の情況と滿月臺及善竹橋等を視察したるが氏は尚は水原へも到る筈なり

●仁川經濟會次會

仁川經濟研究會は來る十日頃第二回例會を開會し各會員の提出に拘る問題に就て討究する豫定なりと云ふ

●庵原課長の歸朝

農商工部漁政課長庵原文七氏は豫ねて長崎縣及び鳥取縣下へ出張中の處來る七日頃歸任する筈なりと

●橫尾時事特派員

は新井編輯長出迎の爲め去る三日朝出發し安東縣に向ひたり

●中村長官の退京

滯京中なりし中村製鐵所長官は去る三日退京釜山へ向ひたり

●仁川副院長後任

仁川病院副院長として前京都大學病院助手村谷醫學士を傭聘す

●大塚理事の退京

入京中の氏四日東上

公人私人

▲一兒島孫七(實業信託會社長)三日大邱へ

▲川崎增藏(麗水警備所長)三日退京釜山へ

近事片々

▲秋高く馬肥ゆるの好季節に於て祖國にては陸軍特別大演習行はる皇國の大快心事

▲我大元帥陛下には富士の裾野に出御せられ勇壯の軍容を見らるべしと最と畏し

▲陛下親しく軍容を御檢閲あらせらる士氣爲に振ふこと幾倍ぞ皇軍の强勇畢竟之が爲

▲南軍の司令官は長谷川大將北軍の司令官は西大將何れも驍勇を以て名ある將軍

▲三派聯合一致の結果擧國一致日韓合同國論鼓吹準備中と京城電報祖國新聞に揭げし

▲果して斯る事ありや否は知らされ共若し事實とすれば帝國の誠意解せられし者か

▲韓國の開發は全く兩國の和合に依らざるべからず日韓の一家和合は蓋し自然の數

▲統監の病氣は胃壞症にして胃癌に非ず胃癌の噂は小山技手診斷の誤まりなりしと

▲斯く明瞭に判れば世人の疑心は解くさらば主治醫が始より公表せざるが惡いのだ

▲既に病名判然し其經過良好極早癒時の如く元氣旺盛ならば先以て重疊至極の事也

▲鐵道合併問題は既に確定したるもの如し併し監督權を鐵道院に移すとは實か

▲既に鐵道院に合す其施設總てに於て鐵道院が經營する筈然らざれば統一せられず

▲大屋權平長官極力反對したりとの說は打消さる夫が當然反對の理由は立難からむ

▲合併は會議統監も無論贊成の筈と片々は言ひ置たり果せる哉統監は反對をせず

▲英國は今度新ドレツトノート型戰艦の進水式を行ふ獨逸亦近々二戰艦の進水あらむ

▲英獨海軍の競爭は更に究極する所を知らず併し獨逸の海軍力は意外に大也との事

▲屢々英獨戰爭說の起るは畢竟軍備競爭より來る軍備制限問題は列國間に起るべし

▲水道會社の公共心なきには驚くの外なし斯るものに水道權を握らるゝは甚心細し

▲之を見るも水道は市民の共有とせざる可らず水道を只營利一方の會社に任すは非

▲田中前宮相更に戀人を得て小林孝子は破鏡となる新戀人は彼の稻滿の未亡人也と

鹽販賣所の設置

東京電報 [illegible]

日刊(月曜及祭日翌日休刊) 明治四十二年十月五日 京城新報 (火曜日) 第二百三十號 (三)

●專用水分與に就て

▲理事官の諭達文 ▲本紙記事の反響

水道會社が虎疫流行に際し公德を重んぜず此機に乘じ反つて漁夫の利を收めんと、不當なる代價を要求し且つ假かに違反者を檢擧せんと企てし事實に就き本社は一昨紙既に其悖德を攻め一方當局者に對し希望を述べしが三浦理事官は昨日左の如き諭達文を公にせり讀者乞ふ再讀三讀して其意の存する處を知らるべし

京城理事廳諭達第十一號

有限責任大韓水道會社との契約に基き專用栓を所有する者が今回の惡疫豫防の爲め水道水を隣人に任意分與の件に關し左の通り諭達す

一 虎列剌豫防の目的を以て專用栓より水道水を隣人に分與し水道會社より非行賠償金の請求を受けたる者は既に其の賠償金を支拂ひたると否とに拘はらず可成書面を以て速に其の旨を當廳に申出づべし

二 專用栓より水道水を任意分與の件に關する水道會社との協議は急速に圓滿の解決を得るの見込なきを以て專用栓を有せざる居留民は多少の不便を忍び民團役所の給水を受くるか若くは附近の共有栓より水道水を汲み取るべし

三 九月二十六日より二十八日に亘り或る場所に於ては三日間又は二日或は一日間水道水の汚濁せる爲め受たる損害は本官より水道會社に對し請求すべきに付金錢上の損害並に精神上の苦痛を金錢に見積り可成書面を以て速に當廳に申出づべし

四 水道事業を營利的特許會社に放任するは一般韓人の貧窮なる實狀に顧み特に惡疫流行の如き非常なる場合に於ける公衆衛生の觀念と相容れざるものと認めたるに付如何なる程度迄大韓水道會社の特權を尊重せざるべからざるやに關し交涉を開始する筈に付非行賠償金の請求を受けたる者は進んで之を支拂はれんことを望む支拂ふことを得ざるものは其の旨當廳に申出づべし

五 明治四十一年八月二十四日附を以て與へたる有限責任大韓水道會社別則に對する承認は昨日之を取消したり

明治四十二年十月四日 京城理事廳理事官 三浦彌五郎

●通關屋の欺詐

▲仁川の惡通關屋退治

仁川山手町二丁目居住の通關業原籍三重縣鈴鹿郡椿村板倉光秀(三十)及び同店雇人同縣同村生れの中川林造(三十)は數日前詐欺取財犯に依り仁川署に檢擧され一昨日檢事局に廻はされたるが右事件の眞相を報ずる處あらん

▲不相應な生活 之より先き仁川の甚だしき不景氣に連れて其日〳〵の糊口にすら窮しつゝある通關業者多きに這は又た何の故ぞ前記板倉光秀ばかりは不景氣を他所に見て或は敷島遊廓の敷島本店の抱娼妓小浪に數百圓を貢せしのみならず之を落籍して妾となし京城に圍ひ或は京城に不動產を買込み丸萬支店を出さしめ家にありては美衣美食に飽きて暮し已が所有せる家屋に向き餘りに華奢に暮しあるにぞ仁川署の三刑事は其れとなく內偵して深く捜査する處ありしに其裏面の內情に就て驚くべき犯罪行爲を發覺するに至れり

▲過當なる關稅 即ち三刑事は仁川稅關に至り通關申告書に就き精密なる取調べを爲したるに假に五圓の稅金を納附せしものをば荷主に對しては二十圓乃至三十圓の稅金を納めたるものゝ如く裝ひて不當なる私慾を滿たし無稅通關の物に對しても有稅として過當の甚しき暴利を貪ぶ事件自迄數百回に及び之が詐欺の金高は約數千圓に及ぶ可し

▲遂に檢擧さる 右の犯罪捜査に着手せし由を板倉は聞知すると共に小刀細工を施して證據の煙滅に取掛りたれど通關申告書及び荷主側より通關料其他の領收證等の證據類全部を押收したるより如何共詮方なく遂ひに檢擧せられたるものなりと

▲物價に惡影響 右の如く不當なる暴利を貪るの結果は自然に仁川の物價にも直接影響して迷惑を被る事甚大なるものあるべし然るに今回此筋の手に檢擧せられ尙は此類の不正通關屋は假借せず拘引して一般通關業者に對し戒飭を與ゆる由なり

●無理情死の後聞

△加害者生命別狀なし

去る二日午後零時三十分頃日の出町佐伯旅館止宿中の若き男女が悲慘なる無理情死を企てしとは本紙の報じたる如くなるが加害者は原籍德島縣板野郡遠賀部鳴門村二千三百六十六番地小民源九郎四男樹添彌次郎(三十)にて以前仁川驛構內溝渠掃除夫を務め曾て被害者井上うめの(二十五)が同地高石洞淀川樓に酌婦を勤めし時馴染めしものゝ如く爾來男は薄給の身の不義理の借財多く出來女は樓主の氣受け思はしからず遂に一ヶ月以前京城長谷川町だるま亭事長輪耦枝方へ共稼の周旋にて前借金僅か十五圓にて鞍替せしを男は尙ほ未練を殘し女の跡を追ふて去る九月廿九日前記佐伯旅館に投宿なし巧にうめのを足抜させ旅館に連れ込み夫婦氣取りで毎日成す事もなく下六疊の部屋にて乳繰合ひ居りしを前號記載の如く兩人共所持品なき爲め手段しく宿料を請求せられ一方だるま亭にてはうめの潜伏を突止めて三人連れの男來りて強硬なる取戻談判に遭ひ茲に男は切迫窮つて前後を思慮するに遑なく一時に逆上し可愛き女を冥土の道連れにせんものと斯く慘劇を演じたるものなるが彌次郎が所持せる短刀は頗る鈍刀と見へ已れも八ケ所斬りて死に切れず又被害者うめのは大小三十ケ所も斬られ居たり然るにうめのは手負の彌次郎が鈍刀を振廻はして三十ケ所も斬り附け居る始末を見て何等取戾しの爲め談判に至りし三名の男は防止せんともせず刀の光りに恐れを抱き戶外に飛出で只傍觀し居つたとは臆病の至りと云ふべし尙うめのゝ死体は一昨日抱主だるま亭に於て叮嚀なる佛事を行ひ埋葬し男は壽町三丁目高井醫院に收容し目下治療中なるが生命丈は取止べしと云ふ

●漁夫と暴徒の格闘

▲水產會社船夫の遭難

仁川本町四丁目西本多吉の所有に拘る水產會社所屬漁船々頭尾下宇吉外韓人李永植同金大東外二名は客月二十日海州署所轄內龍𣏓島附近に出漁中手に手に獲物を携へたる暴徒七名に襲はれ前記宇吉は遂ひに渠れ暴徒の毒手に斃れたる旨一昨三日午後七時頃命から〳〵現場を遁走して海州に出で天草丸に便乘して仁川に歸着したる右乘組韓人屆出でに接せしかば仁川署に於ては捨てゝも置けず討伐隊を派遣すべく其の準備中又も同日午後十時頃同漁船乘組船頭三名は暴徒七名と格闘の上其內の三名を取押へて同行訴へ出でしにぞ直に右三名の暴徒に就て取調べたるに全く日本人を殺害したるに相違なき旨白狀したるより警官數名は即刻同島へ向け死體の檢視並びに暴徒討伐の爲め急行せりと云ふ

●仁川の虎疫全滅

▲新患者は一名もなし

仁川の虎疫は日と共に終熄するに至りし事は既報の通りなるが去る二日及び一昨三日共に只だ一名の新患者さへ發生せず各韓人部落を通じ虎疫全滅の期茲旬日を出ざる可し

●一二兩日間の虎列剌

▲著しく新患者數を減ず

一時猖獗を極めたる虎疫も防疫の行き屆きたると個人は衛生に注意し公私の豫防宜しきを得たるが爲め追次終熄に向へるこそ喜ばしき事と云ふべし而して一日、二日の兩日の發生患者數を聞くに一日午前八時より二日午前八時に至る新患者は日本人に四名韓人四十四名計四十八名にして更に同日午前八時より三日午前八時に至る一晝夜間の新患者は日本人一名、韓人三十三名に減少したりと、されば此の機を逸せず各自一層の注意を拂ひて一日も早く之れが撲滅を計ることこそ肝要なりと云ふべし

●退韓違犯者拘引

原籍福岡縣鞍上郡安住村番地不詳平民當時住所不定無職森增太郎(三九)は前科數犯の惡漢にして平素詐欺賭博喧嘩等を常業の如く心得市中を橫行せるが本年六月當理事廳にて治安に妨害あるものと認め向ふ二箇年間在韓を嚴禁せられたるにも拘はらず其後歸國せざるのみか益不正の事を働きたる廉に依り去る六日退韓違犯者として再び京城理事廳に於て拘留二十日に處分せられしも懲りず一向歸國する模樣なく昨今龍山地方を徘徊するを南部署刑事に探知せられ去る二日午後十一時頃京城明治町二丁目を迂路つき居たるを難なく逮捕し本署に連行せられ田部警部主任となり退韓違犯者として目下嚴重訊問中也と

●無錢飲食者二件

鹿兒島縣平民當時京城西署西小門外元關稅局長官留守番人熊谷宗七(三三)及び西部西大門外小平洞寄留人力車夫金允先(三五)は去る二日午後十一時會賢坊司畜洞十一統十五戶酒商金成業(十三)方へ至り鱈腹飲酒したる後勘定三圓三十錢なるに鐚一文も所持せず南部署係官現場に出張して他より貸換へ支拂して示談 ▲京城本町八丁目廿五番戶車夫武原常吉(三〇)の兩人は一昨日午前一時長谷川町二丁目四十九番戶飲食店永見亭事伊士伊代松方へ登樓して十二分飲食したる勘定二圓十錢の支拂出來ず結果其筋の厄介となつて目玉を頂戴

●大工の持ち逃げ

原籍靜岡縣平民當時仁川寄留大工職山本國太郎(四二)は一昨日仁川龍岡町二宮源次方より金四十二圓を拐帶逃走なし同日仁川驛發一番列車にて當地に入込みたる形跡ありとて三日西部署へ搜索方願出でたり

●たかめの大發展

仁川名物の一に數へらるゝ山手町のたかめは今回本町に移……て一昨日福岡生れの三根こめ(十二)は小奴と同よね(十八)は貞奴と名稱り同店より今晩よりと奇麗な首を差出したるが右姉妹三人は揃ひも揃ひし美人なりと

●二拍子の廢業

仁川敷島遊廓朝日樓の小町及び高砂樓の樂隊女郎として有名なる大磯は一昨日其筋に廢業屆を差出したりと

●色餓鬼と消費高

一昨日新町遊廓の登樓客は總計百十一人にして消費高は五百五十二圓六十錢なりき

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷

十月五日 舊八月廿一日 ●八白 佛滅 戊戌のぞく

△一白● 保證引受世話事見合すべし 水利 土木凶
△二黑● 共同組合婚姻等吉 仕官就職妙 其他平穩
△三碧● 音信に接し煩悶又は損害あり離間爭論盜難を防ぐべし
△四綠● 齟齬不遂の事多きなり 格外の買取引凶 新事見合の事
△五黃● 平靜なり 只酒色賭事を愼むべし 業務上相談對談整ふ
△六白● 人より疑容又は悲報に遇ふあり 地方鄕里に旅行轉住は吉
△七赤● 約束談判等對人相談整ふ 酒色の破れを殘し
△八白● 厄運なり 新事見合せの事 又變更凶 建築土工の業には吉
△九紫● 訴訟談判見合すべし 謙讓の禮を缺き事端を惹起す勿れ

▲右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同館の鑑定を請はる可し

平民文庫

▲はの字君に申入候眞面目とか不眞面目とか論ずるの要は御坐るまじく眞面目の中にも不眞面目は之れある可く不眞面目の内にも眞面目はある可しそこは御高見のまゝにて御覽せらる可候兎角人生を馬鹿にして居るとか眞面目な考へが起らぬとか若しそう云ふ考への方があつたなら早々行李を收めて淺間の山にでも旅立たる可く候そこには修養の御大將双手を擧げて待ち居り候(信仰の人)●●

▲龍山梅町の表通りの空地は夫れ程でもないが元學校ウラの空地には牛馬を放牧して居るが其所には井戶もある糞尿は其周圍に流れ蠅は附近の家屋に襲來して衛生上危險を誘致すべく思はれる僕は日曜の日其の附近の家に遊びに行て吃驚して戾つた其の筋の御注意を煩はす(老婆心子)●●●

▲本町四丁目の電柱に二日の朝の事こんな貼紙があつた『今の社會は衛生の社會なり衛生の爲には如何なる慘酷を公衆の前に敢てするも如何なる醜体を街路に演ずるも關する所なき也衛生の爲めには人を殺すも可風俗を無視するも可學問の進步とは如斯者を云ふか』先づコー云ふ意味だ▲一應は尤もな事でかゝる不平を抱く人も少なくないだらうが、鷄卵を碎かざれば『オムレツ』を製する能はずで猖獗を極めたる虎疫を防壓する手段ざつては多少の犧牲は忍ばねばならぬ見よ我帝國は東洋平和の爲に數萬の命と幾億の財を滿洲の野に拋ちたるに非ずや(はの字)●●

▲コレラ流行に際しての警官の勞を謝す終熄の期甚だ遠からざらん欣喜(居留民)●●

▲釜山時報の主筆文を草するを以て有名なる津原某は這般同社を辭するの辭中に五年間一社に居たものは朝鮮中に己れ一人だと云つて居るが鶏んで知んやだ朝鮮日日社の山崎日城子は同一社に六年間編輯長として精勤し將來も動く氣色はない、津原某の見聞の狭いことは此れでも知れる(文撰子)●●●

▲度支部の近傍に空地がある一度其所へ踏み込んで見玉へ衛生も蜂の頭もあるものか當事者の實地踏査を希望する個人衛生は無論肝要だが斯う云ふ所の清潔法施行も肝要だと思ふ(同所住人)●○●

▲檢病的戶口調査の檢疫醫官中には病人と見ると診察もせずに戶の外から病人の顏色を眺めたのみで直ちにコレラ患者だと斷定する爲め韓人中往々不平を漏すものが少なくないと云ふ意味の投書が一巡查なる名の下に編輯局へ舞ひ込んだ參考として其の要項を摘載したのである(係)●

▲皆社三面紙內因はれし怪美人題中のヨボ官吏たる主人公は瀧川元吉です彼れは誠に不都合千万なる痴漢にて人の風上に置けぬ下にも置くべき人物ではありませんアーユー人物を任用する長官こそ盲目長官ですよ(白瀬鯛二)

殺菌の効著大なるが故に仁丹を時々服用せば總ての傳染病を豫防す

消化と毒けし



用心深き人は仁丹を離さぬ

悪疫を注意無き人を襲ふ

今や各地とも虎疫痢病益々猖獗を極め猛烈に瀰漫しつゝあり、それ

恐る可きは虎疫
忌む可きは痢病

諸君は此際絶對に此の恐る可き病毒の感染を防衛す可き**殺菌の力強大無此**なる**仁丹**を食後々々に必ず四五粒づゝ服用せられよ

徳用買方

● 仁丹の廿五錢包は十錢包の三倍分ある上に優美なる藥入と慈善券三枚を添付す
● 仁丹の徳用包は裝飾を省き二十貼分入にして藥價は一圓なり

急患を救ふに最も有効なる懐中藥は此の仁丹なり

韓國代理店 京城 新井藥房

各種 **洗濯石鹸** 專門製造販賣

用途 — 陸軍、鐵道、病院、礦山、水道、湯屋、散髪、諸工業用

京城旭町二丁目 (電話九七三番)

朝日石鹸製造所

明治廿七年七月創立 ● 資本金一千萬圓

東京火災海上運送保險株式會社

京城代辦店 本町四丁目 山口呉服店 電話九番
事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

日韓印刷株式會社

營業科目
活版、石版、銅版、各種印刷
帳簿裝釘、書籍製本及ビ印刷諸材料販賣

遍ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候

本社 京城明治町二丁目
出張所 東京麹町區八丁目十九番地 電話一〇番

大 命 薫

特約販賣 自製

漬物 味噌 醤油 製造元

京城本町五丁目

水上商店

和洋酒、缶詰、精酢、穀物麺類、銘茶、罐詰、乾物荒物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候

(電話二五一番)

廣告

暖爐各種



煙突取付並ニ煙突掃除大勉強

電四七一番 京城本町五丁目角二番戸 **馬木勇吉**
電三六四番 龍山山下町兵器廠官舎錢入口 **馬木支店**

やすくうります

綿 わた ワタ

ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋反物類

卸問屋 京城明治町一丁目四ッ角

唐川商店

電話二六一番

● 臺灣總督府專賣局製劑

消毒防臭劑

ヂンシン

藥學博士下山順一郎先生發明

發賣元 神戸 後藤商店
代理店 京城 新井藥房

廣告

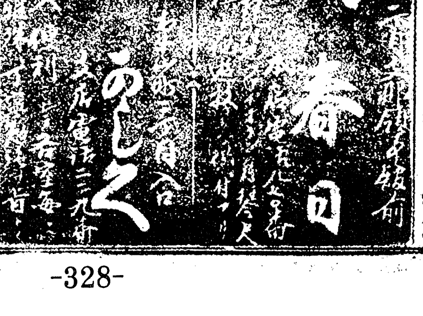
柳澤應之助著 **一新式家計簿記書** 全一冊 代五十五錢 送料四錢

柳澤應之助編 **一會計規則** ニ據ル **諸帳簿式樣** 代六十錢 送料四錢

附 簿記訂正規則 (一般會計より特別會計金庫帳簿に至)

京城日の出町七五

京城簿記學校



馬車配達

●●● 滋養と牛乳 ●●●

純良 **牛乳**

京城東四軒町 **岡野牧場** 電話壹〇六九番

●●● 衞生と消毒 ●●●

日本郵船株式會社 仁川 瀛船出帆廣告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 電話三九番 **郡回漕店**

● 釜山長崎門司神戸行
山東丸 十月二十四日午後三時出
● 大連、大沽、牛荘行
高砂丸 十月十四日正午時出
● 大連、大沽、牛荘行
山東丸 十月十二日午前四時出
● 大連、大沽、牛荘行
酒田丸 月 日正午時出
● 釜山出帆、元山、清津、浦鹽行
立神丸 十月六日午後出

御注意 御乘船ノ際ハ税関波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

● 新聞料 ▲一枚金二錢 ▲一ヶ月前金貳拾錢 ▲三ヶ月 ▲六ヶ月前金壹圓 ▲郵税一ヶ月金
● 廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回五十錢 ▲特別活字十九字詰一行金六十錢
發行兼編輯人 高木久馬
印刷人 藤久神一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六六二